

2022 年 7 月 29 日

私立大学図書館協会  
加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会会長校  
西南学院大学図書館  
館長 古田 雅憲 (公印省略)

私立大学図書館協会総会・研究大会当番校  
追手門学院大学図書館  
館長 湯浅 俊彦 (公印省略)

### 第 83 回 (2022 年度) 私立大学図書館協会総会・研究大会の参加方法について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

6 月 24 日付私大図協発 第 22-19 号の開催通知でお知らせしておりました、今年度の総会・研究大会の参加方法につきまして、下記のとおりご案内申し上げます。

なお、開催通知では、研究大会をハイブリッド開催（オンラインと会場参加の同時開催）でご案内いたしましたが、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大の状況により、役員会で審議しました結果、オンラインのみに変更して開催することとなりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

敬具

#### 記

#### 1. 総会

##### <総会>

日 時：2022 年 9 月 1 日（木）12:00 ～ 9 月 8 日（木）17:00

方 法：メール会議

議 案：『総会・研究大会資料』の「総会資料」をご参照ください。

※『総会・研究大会資料』冊子は、2022 年度から廃止することになりました。

資料は、8 月 31 日（水）までに、私立大学図書館協会ホームページの総会・研究大会ページに掲載します。

<https://www.jaspul.org/collegium/cat/2022/>

表 決：Web フォームから入力（URL などの詳細は、後日会長校よりご案内いたします。）

結 果：2022 年 9 月 26 日（月）15:00（予定）メールおよび加盟館限定ページ（作成中）で公開します。

<挨拶・祝辞>

『総会・研究大会資料』および協会ホームページの総会・研究大会ページに掲載します。

|         |  |               |
|---------|--|---------------|
| 当番校挨拶   | 追手門学院大学 学長   | 真銅 正宏         |
| 会長校挨拶   | 西南学院大学 図書館長  | 古田 雅憲         |
| 祝辞      | 文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付<br>学術基盤整備室 室長<br>国立情報学研究所学術基盤推進部 次長 | 藤澤 亘<br>竹谷喜美江 |
| 次期当番校挨拶 | 大正大学 図書館長  | 稲井 達也         |

2. 研究大会 テーマ

「学生主体の教育への転換と大学図書館 DX（デジタル・トランスフォーメーション）」

<記念講演、講演および協会賞授賞式>

日 時：2022年9月9日（金）12：30～17：00

Zoomウェビナー・YouTube Live 配信会場：

追手門学院大学 茨木総持寺キャンパス「アカデミックアーク」

※Zoomウェビナー・YouTube Live **配信会場**ですので、当日キャンパスまでお越しいただいても研究大会には参加できません。

方 法：リアルタイム配信（Zoom ウェビナー）

※YouTube Live（限定公開）でも配信予定です。

※当日の講演は録画し、後日加盟館限定ページ（作成中）にて公開する予定です。

プログラム：3～5 ページをご参照ください。

参加申込：6 ページをご参照ください。

3. お問い合わせ先 大会事務局 追手門学院 図書メディア課（追手門学院大学図書館）

担当：小池・阿部

e-mail：jaspul2022@otemon.ac.jp

以 上

第 83 回（2022 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会  
テーマ「学生主体の教育への転換と大学図書館 DX  
（デジタル・トランスフォーメーション）」

研究大会＜記念講演、講演および協会賞授賞式＞プログラム

日 時：2022 年 9 月 9 日（金）12：30～17：00

会 場：追手門学院大学 茨木総持寺キャンパス「アカデミックアーク」

方 法：リアルタイム配信（Zoom ウェビナー）

※YouTube Live（限定公開）でも配信予定です。

※当日の講演は録画し、後日加盟館限定ページ（作成中）にて公開する予定です。

大会テーマ「学生主体の教育への転換と大学図書館 DX（デジタル・トランスフォーメーション）」

2022 年度研究大会では「学生主体の教育への転換と大学図書館 DX」をテーマに掲げ、利用者による主体的な学びをいかに実現するかという大学図書館の目標を設定し、その具体的方策を検討する機会としたいと考えております。そのためには大学図書館そのものの変容を企図し、具体的な教育上の実践と図書館を結びつける多様な事例から学び、率直な討議を行いうる場の提供に全力を尽くしたいと思います。

(1) 開会・オリエンテーション 12：30～12：35

(2) 開会挨拶 追手門学院大学 学長 真銅 正宏 12：35～12：40

(3) 記念講演 12：40～13：40

演 題：大学図書館の DX—デジタルアーカイブの構築と活用をめぐって

講演者：福島 幸宏（慶応義塾大学 准教授）

2020 年夏のジャパンサーチの公開、2022 年の公文書のデジタル転換、博物館法改定によるデジタルアーカイブの事業化や国会図書館の個人送信開始など、大学や学生と深く関わる部分でも DX の動きは急速になってきている。そのなかで、大学から情報を発信し、そして利活用する手段として改めてデジタルアーカイブに注目が集まっている。本講演では、まずデジタルアーカイブと大学図書館をめぐる状況を概観する。その後、学修の深化にデジタルアーカイブがどのように関わるかを論じる。社会の DX 化のなかで大学図書館に何が可能か、参加者と議論を進めたい。

(4) 協会賞授賞式

13 : 40～13 : 50

受賞者：伊藤 民雄（実践女子大学・実践女子大学短期大学部図書館）

(5) 休憩

13 : 50～14 : 10

(6) 講演①

14 : 10～15 : 10

演 題：「追手門学院大学『日本人によるオーストラリア関係記録・写真デジタルアーカイブ』の構築と今後の利用」

講演者：南出 眞助（追手門学院大学 教授）

2007年に国内唯一のオーストラリア図書館としてオープンした追手門学院大学図書館オーストラリア・ライブラリーでは、これまでオーストラリア政府外務貿易省・在日オーストラリア大使館の協力を得て、日本におけるオーストラリア研究・教育を目的としたデータベース構築やサイトの開設に努めてきた。今回、主として民間（個人・団体）で所有されているオーストラリア関係の古記録・古写真を中心に保存・公開する目的でデジタルアーカイブ構築を開始した。2021年度は、もと兼松シドニー駐在員家族の戦前期の写真、および初期日系移民が残した日記・スケッチ類のスキャンデータ画像のアーカイブ化を行った。このようなプロジェクトの意義を説明し、全国の大学図書館にも広く協力を呼び掛けたい。

(7) 休憩

15 : 10～15 : 30

(8) 講演②

15 : 30～16 : 30

演 題：大学図書館がプロデュースする新たな知の循環構造

講演者：湯浅 俊彦（追手門学院大学 図書館長）

紙媒体が中心であった大学図書館の資料が、電子媒体を主とする図書館情報資源へと変遷したのはすでに1990年代からである。それに伴い大学図書館では電子ジャーナル、電子書籍、データベースなど「所蔵」から「利用」への大きな変化が現れた。そして今日では、国立国会図書館の個人向けデジタル化資料送信サービスに象徴されるように、大学図書館に求められる機能と役割とはなにかを再定置する必要に迫られているのである。そこで大学図書館DX（デジタルトランスフォーメーション）の観点から、大学図書館が学生主体の学びの形成に寄与し、「知の循環構造」をプロデュースすることの可能性を明らかにする。

(9) 事例報告

16 : 30～16 : 50

演 題：学修成果の電子図書化に関する追手門学院大学モデルの可能性

講演者：湯浅 俊彦 （追手門学院大学 図書館長）

追手門学院大学では 2019 年度より学生の授業での成果物を PDF 化し、電子図書館サービスに独自資料として登録・公開を行ってきた。その後、2021 年 3 月に公募された文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」事業に、「学修成果電子書籍化による知の循環構造の機能」を含む追手門学院大学の申請が採択された。これを受けて、学生の学修成果を Word から電子書籍の標準フォーマットである EPUB3 に簡便に変換する電子書籍制作システムを導入し、学生自身や教員が電子図書を制作するワークフローを完成させた。大学図書館の機能と役割は、図書館情報資源の提供だけではなく、学生主体の教育実践に関与し、「知の循環構造」を学内に構築することにある。追手門学院大学の実践事例を通して、大学図書館 DX について検討する。

(10) 閉会挨拶 追手門学院大学 図書館長 湯浅 俊彦

16 : 50～17 : 00

## 研究大会<記念講演、講演および協会賞授賞式>参加方法について

### ■ 参加方法について

以下の2つの方法があります。

(1) Zoom ウェビナーによる参加【リアルタイム配信・質問が可能です】

※申込みが**必要**です。次項「Zoom ウェビナー参加方法について」をご参照ください。

(2) YouTube Live (限定公開) の視聴【リアルタイム配信・質問はできません】

※申込みは**不要**です。

URL は、後日加盟館限定ページ (作成中) に掲載し、メールでもお知らせいたします

なお、当日の講演は録画し、後日加盟館限定ページ (作成中) にて公開する予定です。リアルタイムでご参加できない場合は、ぜひご利用ください。

### ■ Zoom ウェビナー参加方法について

(1) 申込方法

- 参加を希望する大学は、下の (3) の「参加申込フォーム」より申込みをお願いいたします。
- 1 つのアカウントを利用し複数名で視聴される場合は、参加者数把握のため、各自でお申込みください。
- 申込フォームを送信後、入力内容のコピーが、申込者連絡先に送信されます。参加者ご自身のメールアドレスをご入力ください。入力内容のコピーが送信されない場合、申込みが完了していない可能性がありますので、再度フォームを送信してください。
- 視聴方法は、参加申込時に登録いただくメールアドレスに後日送信いたします。メールが【9月5日(月)】までに届かない場合は、当番校事務局 (jaspul2022@otemon.ac.jp) までご連絡ください。
- 希望する全加盟館が参加できるよう、後日参加者数の調整をさせていただく場合があります。参加できなかった方は、YouTube Live での視聴 (申込不要) をお願いいたします。

(2) 申込期間

2022年7月29日(金)～8月19日(金) 23:59

\* 申込期間終了後はYouTube Live での視聴をお願いいたします。

(3) 参加申込フォーム URL

[https://www.jaspul.org/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=member\\_2022\\_zoom](https://www.jaspul.org/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=member_2022_zoom)

以 上